

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(1) 個性と魅力を活かすまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区の特徴・魅力として思い浮かぶものとしては、山崎川沿いに続く桜並木がまず挙げられるのではないのでしょうか。瑞穂区のシンボルマークも山崎川と花びらをアレンジしたもので、区の木、区の花もサクラであり、サクラは瑞穂区の魅力として、区民に馴染み深いものです。

そして、区内にはパロマ瑞穂スポーツパーク（瑞穂運動場）があり、さまざまなスポーツ大会の会場、また名古屋グランパスの本拠地、市のスポーツの拠点として、選手や観客が数多く訪れる場所があるのも魅力のひとつです。

さらに、教育施設が多いことが特徴として挙げられます。市内16区で比較すると、瑞穂区内に高校は7校、短大は2校、大学は3校あり、いずれも16区で3番目以内に入る数です。

こうした瑞穂区の魅力や特徴をふまえ、区内に本拠地を置くトップスポーツチームや教育施設と連携し、魅力がよりいっそう輝くまちづくりをすすめる必要があります。

一方で、瑞穂区の西部には世界規模で事業を行う製造業の本社があるなど、昔から製造業がさかんです。そこで働く人々がその周辺に居住し、西から東へと開発がすすんできました。その過程で生まれた歴史的魅力や地域遺産については、今まで、大きく取り上げられておらず、開発等によってなくなってしまう前に、調査整理を行い、瑞穂区の魅力として、区の内外に発信する事業をすすめる必要があります。



【第3回瑞穂区さくらスイーツコンテストグランプリ作品】

指標

事 項	28 年度	29 年度（目標）
区民アンケート 「瑞穂区が魅力的なまちだと思う人（※）」の割合	89 %	90 %以上
地元の魅力発見！子どもお仕事体験参加者アンケート 「瑞穂区の新たな魅力を知ることができたと感じた人」の割合	86 %	90 %以上

※「思う」「まあまあ思う」と回答した方

主な取り組み

- ・サクラのまち瑞穂づくり（さくら写真展、さくらスイーツの活用、山崎川のライトアップ、サクラ情報の区ホームページでの発信など）（地域力推進室・土木事務所）
- 「瑞穂のさくら写真展」やさくらをモチーフにしたお菓子作り教室などを実施し、瑞穂区の区の木、区の花であるサクラを通じて瑞穂区の魅力を発信します。また、サクラ情報をツイッターやフェイスブックでお伝えするほか、山崎川の夜桜を楽しんでいただけるよう、3月下旬～4月上旬の開花時期にライトアップを行います。



【お菓子作り教室】

・身近な地域遺産発見・発掘事業（地域力推進室）

明治～昭和前期の瑞穂区の歴史的魅力や地域遺産を発見・整理し、耕地整理・区画整理によって形成された「計画的近代住宅地」としての瑞穂区の魅力を、講座やまち歩きイベント等を通して区の内外に発信します。

・音楽による地域のにぎわいづくり事業（地域力推進室）

サクラの開花時期など、季節の折々に地域の身近なところでコンサートを開催し、地域住民・学校・企業などの交流の機会とにぎわいを創出します。



【音楽による地域のにぎわいづくり】

・トップ・スポーツチームとの連携事業（地域力推進室）

瑞穂区に本拠地を置くトップ・スポーツチームである名古屋グランパスやHC名古屋と連携してスポーツイベントを開催し、トップ・スポーツチームがあるという瑞穂区の魅力をPRするとともに、地域のスポーツ振興をはかります。

◎名古屋市立大学との連携事業（地域力推進室）

区内にある高度な教育施設を身近に感じていただけるよう名古屋市立大学薬学部と連携し、夏休みに区内在住の小・中学生とその保護者を対象にしたイベントを実施します。

◎瑞穂区の魅力発見！四季の風景撮影隊員（地域力推進室）

小・中学生とその保護者を対象に瑞穂区の四季の風景写真を撮影していただく親子撮影隊員を募集し、その作品を区ホームページなどで紹介し、瑞穂区の魅力ある場所を発信していきます。

・地元の魅力発見！子どもお仕事体験（地域力推進室）

区にゆかりのある企業や行政機関の仕事をすることで、区の新たな魅力を発見し、愛着を深めていくきっかけとします。また、そのほかにも地元の魅力を発掘していきます。

・瑞穂区マスコットキャラクター付医療証カバーの配付など（保険年金課）

子ども医療証等のビニールカバーに、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」がデザインされたシールを貼付してお渡しするなど、「みずほっぺ」のPRをするとともに、瑞穂区への愛着を深めていくきっかけとします。



・なごや学マイスター講座の開催（生涯学習センター）

まち歩きなどを通して瑞穂区の魅力を発信する人材を育成することを目的とした「なごや学マイスター講座」を開催します。

・なごや学講座の開催（生涯学習センター）

市民一人ひとりが名古屋に愛着を感じ、誇りに思うことができるように、名古屋の歴史や文化、産業、自然などさまざまな視点から、名古屋をより深く知り、名古屋の魅力を再発見できるようにすることを目的とした「なごや学」の講座を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆瑞穂区は名古屋市内で一番住みたい地域と言われています。住民のマナーの良さ、そして自然環境のすばらしさ等ありますが他地域の人に瑞穂区のすばらしさを言う時、山崎川のさくらぐらいしか思いつきません。そこで、自慢出来る事（視覚で訴える）がいくつか増えるのを期待しています。

☆夏休みなどの長期の休みに子どもが参加できるサマースクールやワークショップなどがあるといい。

☆トップスポーツチームとの連携事業にさらに力を入れて欲しい。

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(2) 地域とともにすすめるまちづくりの推進

現状と課題

区民まつりを始めとした区民との協働によるまちづくり事業は、区民が相互に交流する機会となっているとともに、区民が地域活動に参加する契機となっています。今後、さらに区の特性・魅力を活かしながら、さまざまな年齢層や団体との交流の機会を提供することにより、地域の誰もが、地域の活動に主体的に参加ができるまちづくりをめざしていきます。

また、平成28年9月に、2026年アジア競技大会の開催地が愛知・名古屋に決定されました。アジア競技大会はアジア版オリンピックともいわれ、スポーツの振興や国際交流の促進などさまざまな効果を生み出すと期待されており、そのメイン会場としてパロマ瑞穂スタジアム（瑞穂公園陸上競技場）が予定されています。メイン会場の所在地として、2026年アジア競技大会の開催機運を盛り上げていく必要があります。さらに、パロマ瑞穂スポーツパーク（瑞穂運動場）では、大規模なスポーツ大会や試合が多く開催されており、そこに参加する選手や観客などの来訪者が安心・安全に訪れることができる瑞穂区にしていく必要があります。



【瑞穂区民まつり】



【瑞穂区民まつり（防災クイズラリー）】

指標

事 項	28 年度	29 年度（目標）
区民アンケート 「地域の事業やイベントに参加した人」の割合	58.4 %	60 %以上
区民まつり来場者数	延べ26,000 人	延べ26,000 人以上

主な取り組み

- ・「瑞穂区民まつり2017」の開催（地域との協働、陸前高田市復興支援を通じた区民の防災意識の向上など）（地域力推進室・生涯学習センター）
企画・運営を地域団体とともに行い、出展・出店・発表の場を提供することで、区民・学校・団体・企業と行政の協働、地域コミュニティを始めとする区内全体の活性化をめざして、パロマ瑞穂レクリエーション広場及び生涯学習センターで開催します。また、名古屋市は岩手県陸前高田市と友好都市協定を締結しており、瑞穂区民まつりにおいて復興支援の意識啓発をはかるとともに、区民一人ひとりの、さらには地域の中で防災意識の向上をはかっていきます。

◎2026年アジア競技大会に向けた瑞穂区ジョギングパトロール（ジョグパト）の推進（スポーツの振興）（地域力推進室）

瑞穂区には、名古屋市全体の総合的なスポーツ拠点施設であるパロマ瑞穂スポーツパークがあり、パロマ瑞穂スタジアムは2026年アジア競技大会のメイン会場として予定されています。

スポーツ大会や試合に参加する選手や観客などの来訪者が安心・安全に訪れることができ、そして区民のみなさまにとっても安心・安全な瑞穂区をめざすとともに、区民が気軽にスポーツを行う機会づくりに加え、2026年アジア競技大会開催へ向けた盛り上げにもつながる取り組みとしてジョギングパトロールを実施します。

※ジョギングパトロール：日頃のジョギング、ウォーキングやペットの散歩などの機会に缶バッジ・ビブスを身に付けて地域のパトロールを行うことで、地域の安心・安全の向上とスポーツの振興をめざすボランティア活動です。



・ヤングサポーターみずほの活動の支援（地域力推進室）

区内7校の高校生と意見交換を行い、青少年をまもる運動、区民まつり、安心・安全で快適なまちづくりフェスタ等でキャンペーンを実施します。



【ヤングサポーターみずほ】

○町内会・自治会活動への加入促進の支援（地域力推進室）

地域コミュニティ活性化をはかるため、区役所に町内会・自治会加入ポストを設置するほか、「広報なごや」やチラシで広報することにより、町内会・自治会の加入促進を支援します。

・公園愛護会・街路樹愛護会・川を美しくする会の支援（土木事務所）

協働により安心・安全で清潔な公園・街路樹・河川を維持するとともに、制度・活動事例の紹介や新規設立の呼びかけを行います。

・歩道橋ネーミングライツパートナー・街路灯パートナー・まごころ遊具の普及（土木事務所）

多くの法人・個人に地域貢献に協力いただけるよう、「歩道橋ネーミングライツパートナー」「街路灯パートナー」「まごころ遊具」の制度の普及をすすめます。

・生涯学習センターで活動している自主学習グループの支援（生涯学習センター）

生涯学習センターで活動している自主学習グループについて、日ごろの学習・活動成果の還元・発表や仲間づくりなど、グループ活動の発展・活性化の支援をすすめます。

・生涯学習センターまつりの開催（生涯学習センター）

生涯学習の振興をはかるため、生涯学習センターで活動する自主学習グループの学習成果の発表と、地域住民の方々との交流の場として「みずほ生涯学習センターまつり」を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆瑞穂区には優秀な大学・高校・中学が沢山あります。小学校・幼稚園・保育園も多いので、学生と一緒に考える企画（防災関係・学生達が発見する興味ある店の紹介等）等、若者目線の発信ができれば良いのではないかと。

☆一般市民同士のコミュニケーションの機会がきわめて少ないように思う。学区や町内に限らず何かの縁でふれ合う機会を作ることが必要と思う。知人知己多いことが地域の発展及び防災にも役立つはずと。

☆町内会加入者が年々減少しています。加入者を増やす対策を区レベルで考えてほしい。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(1) 災害に強い安心なまちづくりの推進

現状と課題

名古屋市では、平成25年度末に南海トラフ巨大地震の被害想定を発表しました。瑞穂区では、震度が6弱から6強、津波浸水深が区の南西部で1.5m未満との被害想定となりました（あらゆる可能性を考慮した最大クラス地震※の場合）。

また、災害は地震だけでなく、台風や近年多発するゲリラ豪雨等による風水害もあり、これらの災害に対する対策や備えも必要です。

東日本大震災や熊本地震の発生を受け、名古屋市が陸前高田市を始めとした被災地への支援をしていく中で、瑞穂区としてもこれらの地域から学び、今後起こるであろう災害からの被害を少しでも軽減するため、行政による予防対策の充実をはかるとともに、区民一人ひとりの、さらには地域の中で防災意識の向上をはかる必要があります。

※千年に一度あるいはそれより発生頻度は低いが大規模な被害をもたらす地震

◇南海トラフ巨大地震の瑞穂区の被害想定
（平成25年度公表 抜粋）

		あらゆる可能性考慮
最大震度		6強
津波	浸水予想学区	高田、堀田、穂波、井戸田
	最大津波浸水深	1.5m未満
	浸水開始時間	120～720分
対策前	死者数（冬・深夜）	約200人
	全倒壊数	1,500棟
対策後	死者数（冬・深夜）	約60人
	全倒壊数	約300棟

◇平成28年度 自助力向上の促進事業
瑞穂区実施状況

回数	288回
人数	20,406人

建物の耐震化率100%の達成、家具等の転倒・落下防止対策実施率の100%達成や適切な避難行動の実施等の対策をすることで、かなりの被害が軽減できます。

※詳細は名古屋市ウェブサイトでご覧いただけます。

指標

事 項	28年度	29年度（目標）
指定避難所に関する区民向けイベント（訓練・研修・セミナー等）の実施回数	12回	15回
ぼうさいカフェ参加者アンケート「防災に関心をもった」と回答した方の割合	91.4%	95%

主な取り組み

○災害応急対策図上訓練の実施（総務課・消防署）

名古屋市災害対策本部瑞穂区本部及び各区隊等の連携及び災害対応力向上をはかるため、区内の公所（署）が同じ想定のもと図上訓練を実施します。



○指定緊急避難場所の指定及び啓発（総務課）

東日本大震災での教訓を踏まえ、地震、津波、大規模な火事、洪水・内水氾濫、土砂災害など災害の種別に応じた指定緊急避難場所の指定をすすめるとともに、災害時の避難方法等について啓発をはかります。

【災害応急対策図上訓練】

◎地域避難行動計画の策定支援（総務課）

大規模な地震が発生した場合に、地域住民が安全で適切な避難行動がとれるよう、地域の特性に応じた避難行動計画の作成を支援します。

・防災訓練の実施（指定避難所開設・運営訓練、医療救護所訓練）（総務課・保健所・消防署）

発災時にスムーズな指定避難所運営ができるよう、地域の指定避難所運営リーダーを中心に、行政機関や施設管理者と協力しながら、指定避難所開設・運営訓練を実施します。また、瑞穂区の医師会等が主催する訓練に参加し、災害時に医療救護所となる市立中学校において開設及び救護活動の訓練を実施します。

○指定避難所運営リーダーの養成（総務課）

発災時に地域のみなさまで円滑に指定避難所を運営していただけるよう、新たな指定避難所運営リーダーの養成に取り組むとともに、より実践的なリーダーを育成するため、研修に指定避難所開設・運営訓練を新たに取り入れることで、地域における防災力のさらなる向上をはかります。

・ツイッターを利用した災害情報の発信（総務課）

災害時に区民が身を守るために役立つ情報を、ツイッターで発信します。

また、災害応急対策図上訓練の中で、実際にツイッターを使用した情報発信訓練を実施します。

・助け合いの仕組みづくりの推進（総務課）

災害時における「助け合いの仕組みづくり」に取り組む地域を拡大するとともに、関係機関と連携しながら名簿を活用した訓練ができるよう地域を支援します。

・ぼうさいカフェの実施（総務課）

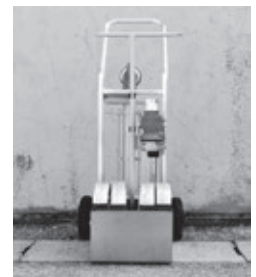
子どもとその保護者を対象に、防災をテーマにしたショーや体験型ワークショップを開催し、気軽に楽しみながら防災について学べる場を提供することで、家庭における自助力や地域での防災力の強化につなげます。

◎落合橋の耐震補強の推進（土木事務所）

落合橋は、緊急輸送道路に指定されている県道岩崎名古屋線の山崎川に架かる重要な橋です。その落合橋において、耐震補強工事を実施します。

○地震時等に著しく危険な密集市街地の防災対策の推進（自主防災訓練やスタンドパイプの試行導入）（消防署）

地震時等において、大規模な火災が発生するおそれや、道路閉塞による避難経路の喪失のおそれがある木造家屋密集市街地を対象にした自主防災訓練を実施し、火災の延焼・拡大を防ぐための地域防災力向上をはかります。また、この地域に、水バケツや消火器よりも消火能力の高い消火用具（スタンドパイプ）の試行導入をはかります。



【スタンドパイプ】

・災害対策の充実（実践的な自主防災訓練、自助力向上の促進事業）（消防署）

小学校区単位で組織された防災安心まちづくり委員会を中心とした住民参画型の防火防災活動をすすめて、地域や事業所による自主的な助け合い活動を推進します。また、一昨年度から本格的に取り入れていただいた町内会単位によるきめ細かい実践的な防災訓練の実施をさらにすすめるとともに、自助力向上の促進事業により、家具の固定、非常持出品の準備など、家庭で行う防災対策の普及促進をはかります。

・防災をテーマとした講座の開催（生涯学習センター）

地震や豪雨・台風などといった自然災害について、防災・減災のために地域や家庭でできる備えについて学び、防災に対する区民の意識向上と備えをすすめていくための講座を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆災害に強い安心な区であるよう希望します。

☆災害時に自分がどう行動するか、町内などで集まって行動する事を話し合うと良い。

☆防災対策の強化をお願いします。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(2) 安全なまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区は、犯罪や火災、交通事故などが他区より少なく、比較的安全な区です。

犯罪については、平成28年刑法犯認知件数及び重点10罪種認知件数が16区中1番少ない区です。犯罪種別にみると、自転車盗の認知件数が重点犯罪の約51%を占めており、次に車上ねらいが約12%、住宅対象侵入盗が約11%となっています。

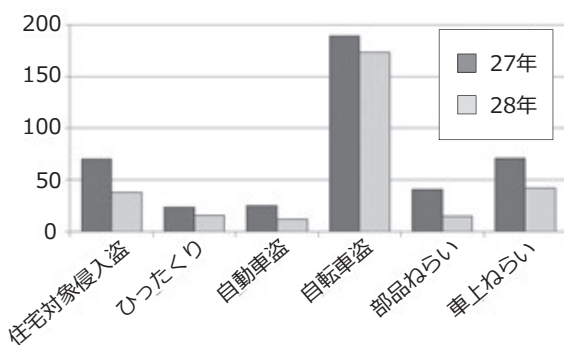
また、振り込め詐欺などの特殊詐欺が10件発生しており、在宅時でも留守番電話に設定し、犯人と話をしない環境を作るなどの対策を広める必要があります。

火災については、平成28年火災発生件数は12件で16区中1番少ない区となっています。

交通事故については、平成28年の人身事故件数が16区中3番目に少なく、瑞穂区内の交通事故死傷者数は近年減少傾向にあります。平成24年から28年までの交通事故死者数合計9人の内7人は60歳以上の方となっています。

犯罪、交通事故のこうした状況を地域に周知するとともに、状況に応じた効果的なパトロールや啓発活動などを行っていく必要があります。

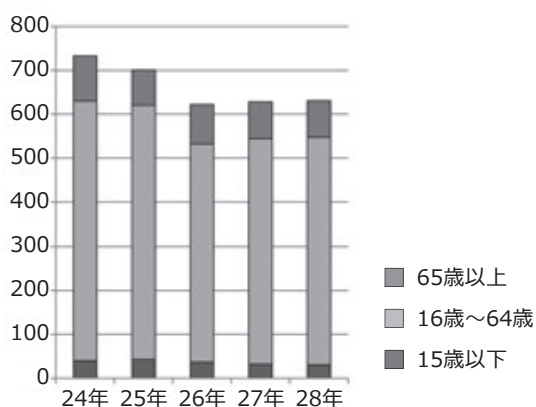
◇瑞穂区重点罪種発生件数（上位6罪種）



◇瑞穂区特殊詐欺発生件数

年	26	27	28
件数	16	19	10

◇瑞穂区交通事故死傷者数



◇瑞穂区火災発生件数

年	24	25	26	27	28
件数	22	18	20	15	12

◇瑞穂区交通事故死者数

年	24	25	26	27	28
人数	1	5	1	2	0

指標

事 項	28年度	29年度（目標）
青色回転灯パトロール実施回数	40回	40回以上
交通安全啓発活動実施回数	60回	60回以上

◎（再掲）2026年アジア競技大会に向けた瑞穂区ジョギングパトロール（ジョグパト）の推進（安心・安全なまちづくり）（地域力推進室）（→P7）

◎瑞穂警察署との瑞穂区安心・安全なまちづくりに関する協定締結（地域力推進室）

より安心・安全な瑞穂区を実現するため、今まで以上に瑞穂区役所と瑞穂警察署が犯罪や交通事故の情報を速やかに共有し、その情報を区民のみなさまにタイムリーに広報していきます。

また、新しく取り組みを始めたジョギングパトロールを広める取り組みを連携して行なってまいります。

○交通安全対策の推進（啓発の実施、交通安全施設の設置）（地域力推進室・土木事務所）

各小学校へ交通指導員を派遣し自転車の安全利用や交通ルールなどの指導を行うとともに、ふれあい給食会などで交通安全について啓発活動を行い意識の向上をめざします。

また、街路灯や区画線（白線）などの交通安全施設の設置・維持管理を実施します。特に、ゾーン30に指定された区域においては、区域入口のカラー化・区画線の明確化などの安全対策をすすめます。

※ゾーン30…生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的に、公安委員会がゾーンを定め時速30kmの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する車両の抑制をはかるもの。

【指定箇所がある学区】（平成29年3月末現在）

御劔学区、穂波学区、瑞穂学区、陽明学区、汐路学区（2ゾーン）
計5学区（6ゾーン）



【交通指導】



【「ゾーン30」入口の状況】

- ・路面標示
- ・区域標識
- ・赤色系カラー舗装

・防犯対策の推進（地域力推進室）

小学校通学路や街頭犯罪多発地域を中心に、警察署等と連携してパトロールを継続して実施します。また、防犯キャンペーンや啓発活動、地域防犯に関する地域での取り組みを推進します。

・マスコットキャラクターを活用した安心・安全なまちづくりをすすめる啓発事業（地域力推進室）

交通安全や防犯等のキャンペーンの実施に際し、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用して、安心・安全なまちづくりをめざす取り組みを、より親しみやすく身近に感じていただけるような形で啓発します。



・歩道のバリアフリー化の推進（土木事務所）

横断歩道箇所における歩道の切り下げと視覚障害者誘導ブロックの設置を併せて行うことで、バリアフリー化をすすめます。

さらに、勾配がきつい歩道について勾配改善を実施し、バリアフリー化をすすめます。

【みずほっぺ安心・安全なまちづくり啓発活動】

区民アンケートでいただいたご意見

☆空巢や車上ねらいがとて多く最近治安の悪さが目立つようになってきました。警察ももちろんですが地域の皆が声を掛けあってどろぼうや変質者のいない地域にして欲しい。

☆ひとつだけ気になるのは交通事故の多さです。

☆自転車の走行に関するルールや常識の浸透や警察等のパトロール強化。

☆バリアフリー化を進めてほしい（ベビーカーなどでも段差が気になり不便）。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(3) 快適な環境づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では平成18年度に「瑞穂区エコライフのまちづくり宣言」を行い、以降環境先進区をめざした取り組みを実施し、環境意識の向上をはかってまいりました。その中の取り組みの一つにあるように「ごみも資源も、元から減らす」発生抑制の視点で取り組みをすすめ、ごみの排出量を減らすことが重要です。

また、犬や猫に関する苦情相談は、継続的に寄せられており、平成28年度の相談件数は、平成27年度から比べると増加しています。今後も、飼い主のマナー向上に向けて、引き続き啓発等を行っていく必要があります。

◇瑞穂区ごみ収集量の推移（単位：t）

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
20,370	20,252	19,903	19,943	19,696

※1 ごみ収集量は、市が収集した可燃、不燃、粗大、環境美化のごみ量の合計

※2 過去の区政運営方針の数字は速報値を使用していたため、この表の数字と異なる場合があります。

◇犬・猫の苦情相談件数の推移（単位：件）

	26年度	27年度	28年度
犬	115	39	46
猫	208	38	77

指標

事 項	28年度	29年度（目標）
区内年間ごみ排出量	19,696 t	前年度より減
区民アンケート 「以前に比べ犬のふんを放置する人を見かけなくなった人（※）」の割合	—	50 %

（※）「見かけなくなった」、「あまり見かけなくなった」と回答した方

主な取り組み

- ・「環境デーみずほ2017」の開催（地域力推進室）
堀田学区を中央会場として、楽しく環境について学べるイベントを実施するほか、区内全域で清掃活動などに取り組みます。



【環境デーみずほ】

・新瑞橋クリーン作戦の推進（地域力推進室）

美化推進重点区域である新瑞橋バスターミナル周辺の清掃活動を、関係公所や関係団体との連携をはかりながら実施します。

・「愛犬クイズラリー山崎川」の開催（保健所）

犬の散歩が多い山崎川沿道で、犬の飼い方マナーアップに関するクイズラリーを開催し、楽しくウォーキングしながらマナーアップをはかります。ゴール地点では、「愛犬の体脂肪率測定」や「なんでもしつけ相談」など犬に関するブースも用意し、愛犬についての困りごとなどにお答えします。



【愛犬クイズラリー】

・犬や猫の適正な飼い方の啓発推進（保健所）

犬や猫による迷惑発生防止のため、飼主への指導を行うとともに、啓発用の看板やラミネートポスターの配布など効果的な啓発活動をすすめます。不適切な飼い方や飼主のいない猫に起因する危害・迷惑の発生防止のための啓発についてもあわせて推進します。

また、猫に関する被害でお困りの方へ忌避方法の紹介や忌避装置の貸し出しも行います。

・水辺の生き物観察教室などの環境イベントの開催（保健所）

山崎川親水広場における水辺の生き物観察教室をはじめ、地域の集まりや環境学習のイベントなどさまざまな機会をとらえて、環境学習を推進します。

・河川の清掃活動（土木事務所・パロマ瑞穂スポーツパーク）

一般社団法人名古屋建設業協会の協力により、山崎川の清掃及び河川に関する情報収集を行い、細やかな河川の維持管理を実施します。

・ごみ減量、ごみ・資源の分別、適正排出の促進（環境事業所）

小学校出前授業を行うほか、イベントなどさまざまな地域の活動やお問い合わせの対応など、機会をとらえてごみ減量、分別及び排出抑制の意義、必要性等についての啓発をすすめていきます。集団資源回収やリサイクルステーションを活用して古着・雑がみの回収の促進をはかります。

・不法投棄の防止（環境事業所）

廃棄物の不法投棄を防止するため、不法投棄の要注意場所の巡回パトロールや夜間パトロールを実施します。

・ごみ・資源の収集における区民サービスの向上（環境事業所）

丁寧で確実なごみ・資源の収集に取り組みます。また、高齢者や障害者などのひとり暮らし世帯で、ごみや資源を所定の場所まで出すことが困難な世帯を対象に、原則として玄関先で収集する「なごやか収集」を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆瑞穂区をもっときれいにしてゴミや雑草がない町にすると、住んでいる人の気持ちから変わってくる気がします。

☆ゴミ、資源の出し方、分類の仕方を時々徹底する必要があると感じます。

☆この頃山崎川を散歩して気がつきましたが、雑草なのか花なのかわからない位伸びて見苦しく存じましたので、すっきりと綺麗にして頂けると良いかと存じました（桜の頃だけでなく）。

☆ネコ、犬のフン放置をなんとかしてほしい。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(1) 福祉活動の推進

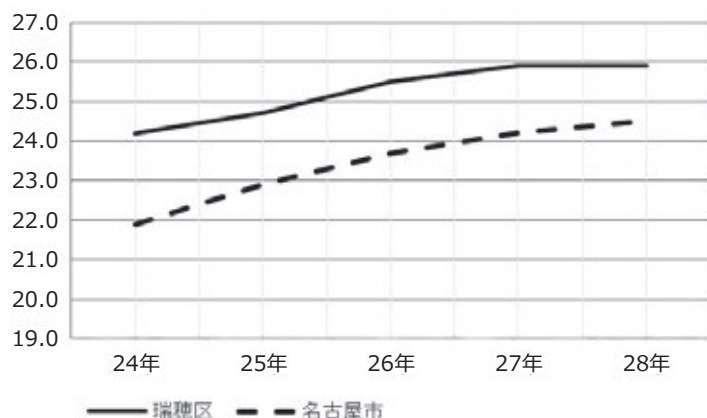
現状と課題

瑞穂区の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は名古屋市平均より高く、高齢化が進んでいます。ひとり暮らし高齢者数も年々増加傾向にあり、地域ぐるみの見守りや支援が必要です。

また、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、さまざまな普及・啓発が全市的に実施されています。

障害のある方が住み慣れた地域で生活していけるよう障害者理解のための普及・啓発活動を続ける必要があります。

◇瑞穂区における高齢化率推移



※公簿人口による（各年10月1日現在）



【みずほ介護フェスタ】

◇65歳以上1人世帯数の推移

（各年10月1日現在）

	24年	25年	26年	27年	28年
名古屋市	84,413	86,973	89,262	92,798	94,984
瑞穂区	4,507	4,694	4,864	4,931	4,907

※平成22年及び平成27年国勢調査確定値に基づく推計

指標

事 項	28年度	29年度（目標）
みずほフェスタにおける来場者アンケート「大変よかった・よかった」と回答した人の割合	64 %	70 %
地域支え合いマップづくりに取り組んでいる町内数	11 学区 238/249 町内	11 学区 240 以上/249 町内

主な取り組み

○地域包括ケアの推進（福祉課・保健所・区社会福祉協議会）

医療などの関係機関との連携をはかりながら「瑞穂区地域包括ケア推進会議」を中心に、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられる医療・介護について検討をすすめ、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、安心して在宅医療・介護を任せられる地域包括ケアシステムづくりをめざします。また、各種イベントや講演会・シンポジウム等を通じ、地域包括ケアシステムの普及・啓発につとめます。

- 「みずほフェスタ'17（医療介護連携推進事業等）」の開催（福祉課・保健所・区社会福祉協議会）
瑞穂区地域包括ケア推進計画のシンボルの事業として、作品展示や講演会などを開催します。開催にあたっては、超高齢化が進む中で広い視野で地域づくりに取り組むという視点から、医療などの関係機関との連携をさらに深めていきます。
※みずほ介護フェスタを名称変更し、みずほフェスタとして開催します。
- ・緊急時医療情報ツール「みずほっぺあんしん情報シート」の普及（福祉課・消防署）
医療情報や緊急連絡先を把握するためのツールを65歳以上のひとり暮らし高齢者に提供し、ご本人や周りの方が緊急時への備えとして活用できるようにします。
- ・老人クラブの会員増への支援（福祉課）
老人クラブの会員増をめざして、広報なごやへの記事掲載（老人クラブの活動のPR等）をはじめ、クラブ行事を実施する際にPRチラシの配布や加入相談を行う等支援をしていきます。また、瑞穂区老人クラブ連合会の愛称である「なごやかクラブ瑞穂」の普及をはかります。
- ・障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりの推進（福祉課）
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が平成28年4月1日に施行されました。地域でも、意識のバリアフリーの向上がすすめられるよう障害者自立支援連絡協議会と連携し、さまざまな障害について知っていただけるようつとめます。また、みずほフェスタ'17において、障害についての啓発を実施するほか、障害者の就労の支援の一環として、区役所で授産製品の販売を支援します。
- ・ご近所での見守り・支え合い活動の推進（区社会福祉協議会）
「地域支え合いマップづくり」を通してひとり暮らし高齢者等を見守る「ふれあいネットワーク活動」をさらに推進するとともに、「地域支え合いマップづくり」に取り組んでいただく町内数を増やしていきます。また、「地域力の再生による生活支援推進事業（地域支え合い事業）」の実施学区においては高齢者等の困りごと相談と個別支援活動のさらなる充実をはかります。
- ・福祉ボランティア活動の推進（区社会福祉協議会）
区社会福祉協議会ボランティアセンターで、ボランティア活動に関する相談、コーディネート等を推進します。また、各種ボランティア体験講座や養成講座を開催し、ボランティア活動の普及につとめます。
- ・福祉会館事業の実施（区社会福祉協議会）
生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりなどを目的に、趣味や各種講座の開催、介護予防事業・入浴サービスなどを実施します。また、児童館との共催で、子どもと高齢者との交流事業を行います。

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆核家族・高齢化により80歳以上のひとり暮らしが多くなっている。日常生活での声かけ、見守りの定着が早急に必要。
- ☆子どもやお年寄りにやさしいまちづくり。お互いに助け合うまちづくりをしてほしい。
- ☆高齢化対策に力を入れていただきたい。
- ☆福祉の充実をお願いします。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(2) 子育て支援の推進

現状と課題

名古屋市の人口構成をみると、15歳未満の子どもについて20、30年前と比べ人口、構成比ともに減少しており、少子化が進行しています。

また、核家族化の進行やライフスタイルの変化に伴い、身近に協力者や相談相手がおらず、子育てに悩みや不安を抱えている人が増えています。保護者に対して仲間づくりや相談の場を提供することにより、子育ての不安感・負担感や孤立感を和らげ、子育てを楽しむとともに、保護者が子どもと十分に向き合い、子どもの育ちを支えていける環境づくりが求められています。

◇15歳未満人口

(各年10月1日現在)

	名古屋市	構成比	瑞穂区	構成比
昭和61年	423,927人	19.9%	20,850人	18.2%
平成8年	319,967人	14.9%	13,872人	13.1%
平成18年	293,406人	13.2%	12,606人	12.0%
平成28年	282,397人	12.5%	13,010人	12.3%

※平成28年の構成比は年齢不詳を含まない人口総数を分母としています。
名古屋市年齢5歳階級別人口（全市・区別）より

◇児童相談所における児童虐待相談受付件数

(単位：件)

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
1,207	1,522	1,800	2,165	2,515

中央児童相談所・西部児童相談所受付件数計

◇子育て相談件数

(単位：件)

	26年度	27年度	28年度
瑞穂区子育て相談件数 (子育て総合相談窓口相談件数)	3,276	3,444	4,652

指標

事 項	28年度	29年度(目標)
さくらひろば参加者の満足度	86.8%	90%
オレンジリボン認知度	33.6%	40%
保健所子育てサロン等での保健師による 子育て出張相談の回数	160回	175回
事故予防教室等での子どもの心肺蘇生法の 実施回数	13回	22回

○児童虐待のないまちづくりの推進（民生子ども課）

5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に行うオレンジリボンキャンペーンなどの啓発活動を区内大学と連携しすすめることにより、子育て世代だけではなく若い世代にも子どもを守り育てる意識の向上をはかります。また、学校や主任児童委員との連携強化による地域での見守りの充実や、親支援プログラムの実施などを通して、子育てに不安を抱える方の支援をすすめます。このほか、命、家族の大切さ、生きることの素晴らしさを感じてもらう映画会及び映画制作関係者講演会を開催し児童虐待の未然防止をはかります。



【オレンジリボンキャンペーン】

・瑞穂区子育てサロン「さくらひろば」の開催など子育てしやすいまちづくりの推進（民生子ども課・保健所）

子育てしやすいまちづくりをめざし、区内の子育て支援者と協力して実施している子育てサロン「さくらひろば」を引き続き開催するとともに、区内大学とも連携して子育てサロンを開催する等、サロン内容の充実をはかります。また、「さくらひろば」及び地域の子育てサロンで、保健所の保健師・栄養士・歯科衛生士が出張子育て相談を行います。さらに、区独自に対象を拡大して実施している主任児童委員等による「赤ちゃん訪問」など、育児に対する不安解消・子育て家庭の孤立防止のための取り組みをすすめます。



【さくらひろば】

・子育て情報の発信（民生子ども課）

「瑞穂区子育てマップ」を更新し、赤ちゃん訪問の機会を中心に配布するほか、瑞穂区子育てネットワーク「さくらっこ♪」と協力して、区内の子育て情報を発信します。

※「瑞穂区子育てマップ」は瑞穂区ウェブサイトでご覧いただけます。

◎妊娠期からの切れ目のない支援の充実（保健所）

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実するため、保健師等がすべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、妊産婦が必要な子育て支援施策を円滑に利用できるよう情報提供していきます。また、必要に応じて相談・助言を行います。

・子どもの事故予防・心肺蘇生法の普及（保健所）

親が子どもの命を守るようにするため、子育て教室や地域の子育てサロンなどで心肺蘇生法の講習会を行い、事故予防・応急手当の普及啓発をはかります。

・妊婦等を対象とした絵本の読み聞かせ体験（保健所・図書館）

パパママ教室において、母性を豊かにはぐくむための絵本の紹介や絵本の読み聞かせ体験を実施します。妊婦のパートナーにも参加してもらい、協力して楽しく育児できるよう応援します。

・児童館事業の実施（区社会福祉協議会）

子どもたちに遊び場を提供するとともに、自主性や社会性を身につけられるような事業を実施するほか、子育ての拠点として、親子で楽しめる事業を実施し子育て支援を行います。また、移動児童館を実施するほか、福祉会館との共催事業により子どもと高齢者の交流を行います。

区民アンケートでいただいたご意見

☆今後、他の区や自治体と同様に高齢化が進み高齢者向けの施策も行っていくと思いますが、今後の発展のために子育て世代や若年層向けの施策も実施していただきたいです。

☆子供や高齢者が安心して暮らせるまちづくりを更に推進してほしいと思いますし、子育て支援の強化をお願いします。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(3) 健康づくりの推進

現状と課題

瑞穂区は、平成21年3月に健康づくりのボランティアグループ「健康ささえ隊」を結成し、自宅近くの公園やコミュニティセンターで「みずほ体操」を実施しています。また、さまざまな健康づくりのための取り組みも行っています。今後は、効果的なPRにより幅広い世代の方々が健康に対する関心を持てるようにすることが必要です。

また、胃がん・大腸がん検診、乳がん検診を実施しています。中でも乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気であり、罹患率・死亡率も年々増加しています。区民に身近な場所に出向いて検診を実施することにより、多くの方に受診していただくことが必要です。



【健康ささえ隊】



【みずほ体操】

指標

事 項	28 年度	29 年度 (目標)
「健康ささえ隊」への参加者数 (22 会場等の合計)	延べ40,045 人	延べ41,000 人
区民アンケート 「みずほ体操を知っている人 (※)」の割合	20.4 %	25 %

※「知っている」「聞いたことはある」と回答した方

- ・みずほ健康づくりマップによる健康づくりの普及（保健所）
身近な場所で健康づくりができるよう、区内の自主的な健康づくりの場の情報をまとめた「みずほ健康づくりマップ」を、区役所や保健所などで配布します。
 - ・みずほ体操の普及と健康ささえ隊の活動支援（保健所）
さまざまな保健所事業や広報媒体を通して「みずほ体操」や「健康ささえ隊」の活動を紹介します。また、区内22か所の「健康づくり会場」で活動する「健康ささえ隊」が、地域に浸透し、発展するよう、活動を支援します。
 - ・男性向け健康づくり教室の実施（保健所）
男性が参加しやすい教室をめざし、男性限定で筋力アップなどを中心とした教室を実施します。
 - ・高齢者サロン等における介護予防の推進と活動支援（保健所）
地域で開催されている高齢者ふれあいサロンや高齢者ふれあい給食会等に、保健所及びいきいき支援センターの保健師等が出向き、出張健康相談を実施します。
また、保健所の保健師・栄養士・歯科衛生士等が、健康講話を行ない、介護予防を推進するとともに、高齢者サロン等の活動を支援します。
- ◎フッ化物洗口（うがい）実施園の増加に向けた取り組み（保健所）
園長会などの機会をとらえデモンストレーションを実施するなど幼稚園・保育所におけるフッ化物洗口実施園の増加につとめ、区内の4・5歳児のう蝕（虫歯）有病者率の減少をはかります。
- ・乳がん検診の出張検診の実施とがん検診のPR強化（保健所）
30歳代から増加し始め50歳前後にピークを迎える乳がんについて、利便性の高い場所での出張検診を実施し、早期発見・早期治療につなげます。また、胃がん検診などのPRを行いがん予防を推進します。



【みずほ健康づくりマップ】

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆高齢者の健康、運動に対する施策広報。
- ☆お年寄りや子供が健康的に過ごせるような取り組みをしてほしい。
- ☆高齢化社会の為、高齢者でも気軽に参加できる行事の取り組みを要望します。

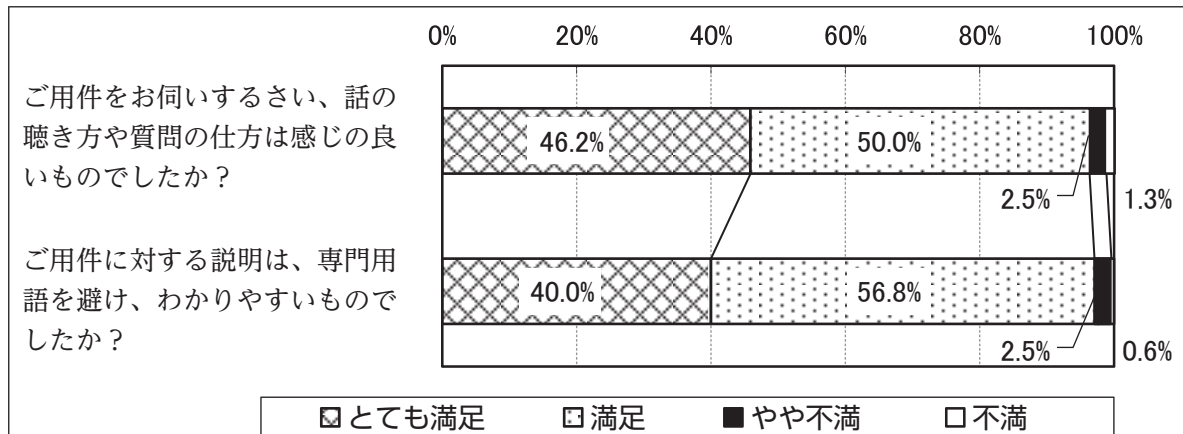
4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(1) 快適な窓口サービスの提供

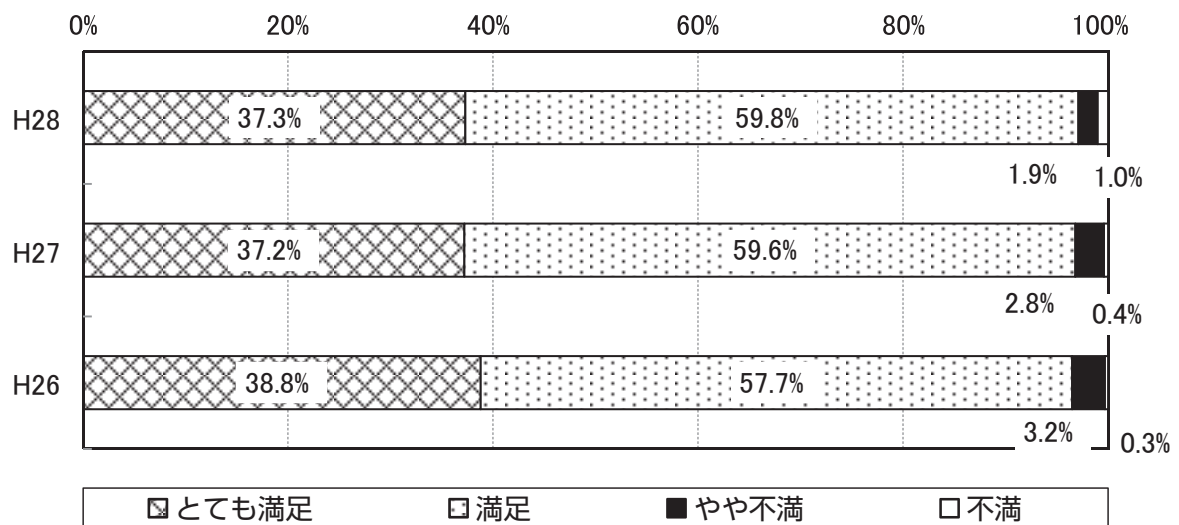
現状と課題

平成28年度に実施した窓口アンケートでは、窓口サービスに対する総合満足度が“とても満足”または“満足”と感じられた区民の方の割合が、97.1%と高い水準にあります。

一方で、自由意見では「説明不足で分からない」や「声が小さく理解しにくい」などの意見が寄せられています。



◇窓口サービスに対する総合満足度の三ヵ年比較



※平成26年～28年度 さわやか市民サービス運動「窓口アンケート」実施結果より
ただし平成26年度は第1回及び第2回「窓口アンケート」実施結果の平均値です。

指標

事 項	28 年度	29 年度 (目標)
話の聴き方や質問の仕方についての満足度	96.2 %	97 %
わかりやすい説明についての満足度	96.8 %	97 %
窓口サービスに対する総合満足度	97.1 %	98 %

◎福祉コンシェルジュ（福祉制度案内嘱託員）の配置（福祉課）

窓口案内、申請書の記載案内、高齢者や障害者等の相談や制度案内を行う福祉コンシェルジュを配置し、窓口サービスの向上をはかります。

・お客様満足度向上・区役所サービス向上をめざした取り組みの実施（全課）

職員研修などを通じて、説明力の向上をはかり、また障害者に対して理解ある対応を身に付けることで、お客様の満足度向上につとめます。

・正確で迅速な証明書交付事務（市民課）

各種証明書類を正確で迅速に発行・交付します。また、混雑時は受付窓口を増やすなどにより待ち時間の短縮をはかります。

・各種証明取得のための便利な窓口サービスの案内（市民課）

居住区以外の区役所や開庁時間外でも住民票の写しなどの証明書等が取得できる窓口サービスの案内や、日曜窓口の開催日や窓口混雑情報などの広報をすすめ、利便性の向上をはかります。

◎清潔で快適な窓口環境の提供（市民課）

汚れの著しい記載台用デスクマットを取り換えるほか、日頃から受付カウンターや記載台の整理整頓・美化に心掛け、清潔で快適な窓口環境を提供します。

・おもてなし向上事業（市民課・保険年金課）

瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」をデザインに取り入れた椅子カバーを1階待合スペースに設置し、待合フロアを明るい雰囲気保ちます。また、婚姻届を提出されるお客様が自由に記念撮影できるよう1階総合案内横にメモリアルボードを設置するなど、みなさまに満足いただける区役所づくりにつとめます。



【メモリアルボード】

・保険年金課窓口におけるフロアサービス実施（保険年金課）

窓口案内・届書記載補助などを行うフロアサービス員を配置し、受付時間の短縮をはかりお客様をお待たせしないようにつとめます。

・ボランティア清掃の実施（全課）

毎月定例的に職員が区役所周辺の歩道を中心に清掃を行い、お客様に気持ちよくご利用いただけるようつとめます。

また、区内一円にわたって、保健所、土木事務所、環境事業所、消防署、社会福祉協議会や、区内の官公所（署）とも連携してボランティア清掃を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆障がいのある人に対して差別がおきないように接客してください。

☆区役所の1階の市民課フロアがなんとなく暗い気がします。内装を明るい色にしたり観葉植物などの緑を配したりして、待っていても少し気持ちのいい空間にしたいと思います。

☆瑞穂区役所よりも熱田区役所の方が近い地区なので、熱田区役所でも瑞穂区役所と同じサービスを受けられるような、サービスの連携があると便利でありがたいです。

☆もう少し迅速に区役所の手続き等がすすんで欲しい。

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(2) 広報・広聴の充実など

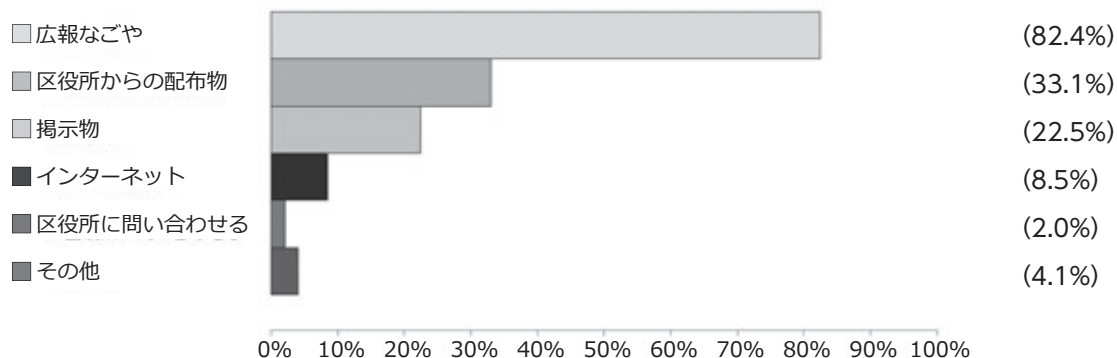
現状と課題

現在、瑞穂区では広報なごや、区ウェブサイト、情報サテライト（地下鉄瑞穂区役所駅構内に設置）、行政情報モニター（1階待合スペースに設置）等を利用して区民のみなさまへの情報発信を行っています。しかし、各種イベントや区政の取り組み内容など、区民における認知度が十分であるとは言えず、更なる広報の充実が必要であると考えています。

そのため各戸配付の「広報なごや」については、情報を整理し、見やすい紙面づくりに引き続き取り組むとともに、多様な媒体での情報発信のツールを充実するため、区公式ツイッターやフェイスブックの更新を積極的に行い、情報の量的・質的な充実をはかっています。

また、広聴活動については、より良い瑞穂区をめざしていくため、継続的に区民ニーズを把握していく必要があることから、区民のみなさまのご意見をお伺いするために地域懇談会や区民アンケート等を実施しています。

◇区役所の事業・行事・お知らせなどの情報をどのようにして（どの媒体から）入手していますか
（複数回答）



平成28年度瑞穂区区民アンケート結果

指標

事 項	28 年度	29 年度（目標）
区ウェブサイト総ページアクセス数 （トップページを含む全てのページ）	336,202 件	340,000 件以上
区公式ツイッターのフォロワーの数	1,266 件	1,300 件以上

主な取り組み

◎名古屋市立大学・越原学園との連携（企画経理室）

瑞穂区役所と名古屋市立大学は、大学の知恵と学生の若い力を魅力あるまちづくりに活かすとともに、大学における教育・研究活動の充実をはかるため、平成28年6月15日に連携協力協定を締結しました。また、平成29年度には、名古屋女子大学などを設置する越原学園とも連携協力協定を締結する予定です。協定にもとづき多様な分野で連携・協力した取り組みを実施します。

・区民会議の開催（企画経理室）

区民意見を反映した区政運営ができるよう、区民会議を開催します。
※区民会議…区民の区政への参画を推進し、区政運営方針や区の将来の方向性等に関し意見をお聴きするため、平成28年度より各区で実施している会議。



【区民会議】

・区まちづくり基金の設置（企画経理室）

区にゆかりのある方や区民のみなさまの区のまちづくりへの想いを活かすため、区まちづくり基金が平成28年4月に設置されました。いただいた寄附金は、ご希望の使途に沿うようさまざまな事業に活用してまいります。
※平成28年度の瑞穂区への寄付金の実績はありません。

・選挙出前トークの実施（総務課）

政治への関心と参加意識を高め、将来の有権者としての選挙の重要性を認識してもらうことを目的とした「選挙出前トーク」を、地域の明るい選挙推進協議会や学校等と連携して実施します。

・区民アンケートの実施（企画経理室）

区政運営に関して区民のみなさまの考えやご意見を把握し、今後のまちづくりに活かします。

・区政推進会議の開催（企画経理室）

区政推進会議を開催することにより、区内官公所（署）の連携をすすめ、区における総合行政の推進をはかります。
※区政推進会議…区内官公所（署）長等で構成する会議で、区の総合行政の推進を目的として各区に置かれています。

・広報の充実（地域力推進室・企画経理室）

広報なごや・区ウェブサイト・情報サテライト・行政情報モニター等をひきつづき活用するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した広報をいっそう推進し、積極的な広報を行います。

・広聴事務（地域懇談会等）の実施（地域力推進室）

区長をはじめとする区内公所（署）長や関係局職員が各学区へ順次出向いて、地域の方と直接意見交換する地域懇談会などにより、行政についての広報・広聴の充実をはかります。



【どりょくん】

名古屋市緑政土木局
直営補修班イメージキャラクター

・瑞穂土木だよりの発行、名古屋市ウェブサイトへの掲載（土木事務所）

瑞穂土木だよりを年2回発行するとともに名古屋市ウェブサイトへ掲載し、より親しまれる土木事務所をめざします。

区民アンケートでいただいたご意見

☆参加出来る教室や催し物について、もっと情報を発信して欲しい。

☆広報なごやよりインターネットを充実してほしい。

☆色々な行事等の案内を広報及び回覧板にて行ってください。

※区民アンケートでいただいたご意見について

平成28年度瑞穂区民アンケート調査において寄せられたご意見から抜粋・要約したものです。

アンケート調査の概要

調査期間：平成28年7月26日～平成28年8月8日

調査対象：瑞穂区に居住する満18歳以上の区民 2,000人（無作為抽出）

回答数：調査票 983件（回答率49.2%）

設問内容：平成27年度の区政運営方針の各施策について、今後力を入れていくべきか 等